

平成25年度 新居浜市母子保健連絡協議会 議事録

日 時 平成25年9月26日(木) 13:45～14:45
 場 所 新居浜市保健センター
 出席者 委員 加藤・新谷・中西・佐伯・関谷・村上・合田明子
 梶原・渡邊・尾崎
 福祉部長 神野
 事務局 岡・河野・藤縄・佐々木・黒川・伊藤
 欠席者 加地・合田めぐみ
 傍聴者 1名

発言者	内 容
事務局 (藤縄)	<p>ただいまから、平成25年度新居浜市母子保健連絡協議会を開催いたします。本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本会議は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けております。本日はおひとり傍聴に来ていただいております。</p> <p>また、本日の欠席者ですが、加地委員、合田めぐみ委員より欠席の連絡を受けております。それではお手元の会次第にそって進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>会議に先立ちまして、福祉部長が挨拶を申し上げます。</p>
部長	<p>みなさんこんにちは。本日はご多忙にも関わりませず、平成25年度新居浜市母子保健連絡協議会にご出席くださいましたこと、また日頃は保健福祉の事業へのご協力をいただきまして心から感謝を申し上げます。平成24年の人口動態統計によりますと、合計特殊出生率は1.41と2年ぶりに上昇しており、30代の妊婦を中心に緩やかに増加傾向にあります。また晩婚化・晩産化が進み、第1子を産んだ時の母親の平均年齢は過去最高年齢となりました。さらに、今年より出生前診断が可能になり、岡山大学による意識調査によりますと、出生前診断により異常がみられた場合、6%の妊婦が羊水検査等の詳しい検査を待たずして出産を諦めると考えているという結果になったそうです。このように妊娠・出産に悩む妊婦にはこれからも増加していくと考えられ、妊婦が安心して出産が迎えられるよう、妊婦を支える体制づくりが急がれます。また、障害を持って生まれた子どもに関しましても、共生できる社会づくりが不可欠でございます。すべての子どもが健やかに成長できるように、連携のとれた母子保健サービスを構築することが重要です。委員の皆様には日頃からそれぞれのお立場で妊婦あるいは子どもたちのために熱心に取り組んでいただいておりますが、各機関の連携が最も重要であります。今後ともより一層のご協力をお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>続きまして新委員の紹介ですが、加藤委員より自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(名簿順に自己紹介)</p> <p>次に事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>(順に自己紹介)</p> <p>引き続きまして、会長及び副会長を選出していただきたいと思います。協議会設置要綱第5条により、委員の互選ということになっておりますが、いかが取り計らいましょうか。</p>

発言者	内 容
関谷委員 事務局	事務局案はありますか。あるようでしたらお願いします。 事務局では、会長を新谷委員に、副会長を加藤委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。
	(委員全員拍手)
事務局	事務局案のとおり、会長を新谷委員に、副会長を加藤委員に決定いたしました。それでは、会長から就任のご挨拶をお願いいたします。
新谷会長	(会長あいさつ)
事務局	それでは、新居浜市母子保健連絡協議会設置要綱に基づき、これからの議事進行を新谷会長にお願いいたします。
議長	それでは、議題に入りたいと思います。
事務局	議題(1)平成24年度実績報告につきまして、事務局から説明をお願いします。
議長	(平成24年度実績報告の説明)
議長	ただいまの説明につきまして、何かご質問ありませんか。
議長	妊婦健診4回目5回目で要経過観察者が増加するとありましたが、この内容は貧血などでしょうか。
事務局	この検査結果の集計は保健センターへ戻ってきた妊婦健診受診券の総合判定を集計しているのですが、要経過観察となった内容については集計しておりません。要経過観察となった妊婦に対してはその都度、校区担当保健師がフォローをしています。
議長	2点目の質問ですが、Mチャットを導入してから偽陽性のお子さんが増えたように思うのですが、Mチャット導入の利点がありましたら教えていただきたいです。
事務局	Mチャット導入してからは、支援が必要な子どもを漏れなく把握できるようになり、より早期に支援出来る体制になりました。
議長	他になにか質問ありませんか。
渡邊委員	スライドには1歳9か月チェックでMチャット通過している151人がさらに継続必要なしと経過観察になっているのは、Mチャットを通過していてもその後フォローをしているということですか。
事務局	Mチャットを通過していても、Mチャット以外の他の項目において経過観察が必要な子どももいるので、こういったお子さんをにこにこクラブの対象としてフォローしています。
議長	その他にご質問がありましたらお願いします。ないようですので、議題(2)平成25年度事業計画及び進捗状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	(平成25年度事業計画及び進捗状況について説明)
議長	今の説明につきまして、ご質問はありませんか。
議長	妊婦歯科健診の受診率が低いようですが、これは産婦人科も協力して受診を勧める必要がありますね。
事務局	ぜひご協力いただきたいです。よろしくお願いします。

発言者	内 容
議長	他にないかありませんか。ないようなので、(3) 平成 26 年度事業について説明を事務局からお願いします。
事務局	(平成 26 年度事業について説明)
議長	事業について質問はありませんか。
関谷委員	幼児健診における要指導者の増加についてですが、少しオーバースクリーニングではないかと気になります。M チャットにしても PARS にしても簡略版を使用しているということですが、こういったテストは全項目揃って成り立つものなので、簡略版を使うのであれば、使う側がしっかりと見極める訓練をし、スクリーニング精度を上げる必要があると思います。職員の努力も必要だと思います。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。
議長	その他、ご意見やご質問はありませんか。ないようなので、(4) 関係機関における取組について各機関から情報提供をお願いします。
関谷委員	(はげみ園について資料に沿って療育内容や支援の流れ等を説明。)
議長	現在、はげみ園利用の空きはありますか。
関谷委員	肢体不自由のクラスにはまだ余裕がありますが、発達におくれのある子どもたちのクラスは埋まりつつあります。今後も増加していくことが考えられますので、スタッフ数を増やすなどの必要があると思います。
議長	はげみ園の利用までの流れはどうなっていますか。
関谷委員	1 歳 6 か月健診にてフォロー対象となり、保健センターでのこにこクラブに参加する等して経過観察をしてきたお子さんが、はげみ園へ紹介されてくる場合があります。また、保健センターから発達支援センターへ繋がり、その後はげみ園へ来るお子さんもいます。また、発達支援センターとはげみ園を併用しているお子さんもいらっしゃいます。はげみ園へ通園開始するには通所受給者証が必要です。地域福祉課で支給申請をする必要があります。
議長	佐伯委員何かありませんか。
佐伯委員	赤ちゃんが生まれて3か月くらいの頃に保健センターから校区にいるお子さんのデータをもらい、民生委員による赤ちゃん訪問をしています。訪問では、赤ちゃんやご家族の様子をお伺いすると、地域の子育てサロンを紹介したり、何か悩みや不安があれば保健センターへ連絡するように伝えています
議長	児童福祉課、尾崎委員お願いします。
尾崎委員	今年度から児童福祉課は保健所からの権限移譲により、未熟児養育医療を担当しています。4月から現在まで、西条保健所から引き継ぎをした3人の他に新たに7人の申請がありました。
議長	発達支援課、渡邊委員お願いします。

発言者	内 容
渡邊委員	<p>発達支援課は平成 22 年 10 月よりスタートし、地域における子どもの発達支援の中核的立場として、総合相談や心理相談員による幼稚園、保育所、小中学校への巡回相談や発達検査の実施、個別のサービス計画の作成運用を行い、それぞれの関係機関が細切れにならないようなサービスを目指し諸機関との連携を図りながら、発達支援の事業を進めています。</p> <p>早期療育につきましては、主に構音訓練や個別療育をおこなう「ことばの教室」と 5～6 人の小集団で教室をすすめる「ひなたぼっこ」がございます。昨年の「ことばの教室」の利用者数は 107 名でした。「ひなたぼっこ」では見通しを持たせるための支援や自分の気持ちや要求を表現できるような支援をおこなっています。</p> <p>療育開始の流れとしましては、保健センターから紹介いただいたり、お母さんが直接支援センターへ相談に来られたりと様々ですが、初回の相談を毎週火曜日にしております。現在、希望者が多く予約が数か月待ちになっている状態です。そこでお子さんの特性や保護者の思いを把握し、療育につなげています。また、療育を勧める中でより専門的な支援が必要と判断された場合、「はげみ園」へ紹介したりしております。</p> <p>また、支援をする側のスキルアップを目指し、講演会や勉強会も開催しております。今年度は自閉症セミナーを開催しました。実際に自閉症の診断を受けているお子さんの協力を得て 2 日間連続した研修を行いました。どんな支援方法がいいのか検討し、実践することで、効果的な支援方法を考えました。今後はこのような研修を受けた支援者が核となり、各機関で広めていっていただきたいと思います。さらに特別支援学級にいるお子さんだけでなく、通常学級にいる支援の必要なお子さんへも、将来を見据えた支援ができるようになるよう、今後も継続してこのような研修ができるようにしていきたいと思っております。</p> <p>これからも各機関と連携をとりながら、事業を進めてまいります。ご協力をお願いいたします。</p>
議長	<p>他にみなさんご意見などはありませんか。お時間もきたところなので、これで本日の母子保健連絡協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p>